

令和 6 年 9 月 20 日

6年生保護者 様

加古川市立義務教育学校

両荘みらい学園

校長 神吉 直哉

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果について（前期課程）

4月に行われた「全国学力・学習状況調査」では、全国の小学6年生と中学3年生を対象に、「国語」「算数（数学）」等の学習状況と児童・生徒の学校や家庭での生活実態についての調査が行われました。

今回の調査結果は、児童の学力の限られた部分ではありますが、届いた結果を基に本校の現状を分析してまとめましたので、その概要を保護者の皆様にお知らせいたします。

国語科 特に「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「知識・技能」の内容で課題が見られます。

おおむね力がついていること

- ・情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができています。（大問2ー）

関連する問題番号

これから力をつけていきたいこと

- ・目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるようにするための書き表し方を工夫することに課題があります。（大問2二）

算数科 「図形」、「変化と関係」、「データの活用」の領域で成果が見られます。

おおむね力がついていること

- ・わる数が小数である場合のわり算で、わる数と商の大きさの関係について理解できています。（大問2（2））
- ・直方体の見取図について理解し、かくことができます。（大問3（1））
- ・円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができます。（大問5（1））

これから力をつけていきたいこと

- ・数量の関係を捉え、式に表すことに課題があります。（大問1（1））
- ・球の直径の長さとは立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことに課題があります。（大問3（3））
- ・速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することに課題があります。（大問4（2））

生活・学習の状況

『自分には良いところがあると思う』と回答した児童・・・約90%

→自尊心が確実に高まっていることがうかがえます。自尊心の高い児童は、課題の解決に向けて自分から取組める傾向が強いことが、文部科学省の調査結果から出ています。

『人が困っているときは、進んで助けている』と回答した児童・・・約93%

『いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う』と回答した児童・・・約98%

『友達関係に満足している』と回答した児童・・・約94%

→新しい教室でも良好な人間関係を築けていることがうかがえます。

『普段、1日当たりゲームをする時間』

4時間以上・・・約27% 3時間以上・・・約13% 2時間以上・・・約21% 1時間以上・・・約19%

『普段、SNS や動画視聴をする時間』

4時間以上・・・約21% 3時間以上・・・約8% 2時間以上・・・約8% 1時間以上・・・約21%

→放課後、ゲームや動画視聴をして過ごす児童が、全国平均、県平均を大幅に上回る結果になりました。

今後の取組について

国語科の結果は「できる学力」向上のために、「ドリル学習」や「漢字の小テスト」等により力を入れて取り組んでいます。さらに、「話す・聞く」「書く」の内容にも課題が見られることから、記録、要約、説明、論述、話し合い等の言語活動を工夫して取り入れ、一人ひとりが自分の思いを様々な表現で伝える力を育成します。

算数科はこれまでの学習内容はおおよそ定着しています。しかし、文章題から式を立てたり、考察したりする問題を苦手としている傾向がみられることから、日ごろの授業を通して言葉と数を使って表現する力を身に付けられるよう授業改善を図っていきます。

生活・学習の状況調査から、本校児童の1日当たりのゲーム時間、SNS や動画を視聴する時間が全国平均より長い児童が多いことがわかりました。ゲームや SNS・動画視聴の時間が長いと学力が低下する傾向が確認されていることから、家庭での過ごし方について、ご家庭でもお子さまと話し合ってください。